

平成 29 年度第 1 回奈良市プロポーザル採否審査会会議録

開催日時	平成 29 年 5 月 29 日（月）午後 1 時 3 0 分から 2 時 1 0 分まで		
開催場所	奈良市役所 中央棟 5 階 庁議室		
出席者	委員長	向井副市長	
	委員	津山副市長 萬谷法令遵守監察監 神田会計契約部長 川尻市民生活部長 岡本都市整備部長 尾崎教育総務部長	
	事務局	契約課長、契約課長補佐、契約課契約係長	
開催形態	公開（傍聴人 0 人）	担当課	財務部 資産経営課
議題 又は 案件	1 奈良市公共施設マネジメントシステム構築事業について		
決定又は 取り纏め 事項	1 採用		
議事の概要及び議題又は案件に対する主な意見等			
<p>1 奈良市公共施設マネジメントシステム構築事業について</p> <p>担当課 事業内容について実施要項に基づき説明</p> <p>委員長 この公共施設マネジメントシステムっていうのはもう各市で随分入っているのですか。</p> <p>担当課 平成 29 年度の調査によると中核市 48 自治体のうち 30 の自治体が保全に係るシステムを導入あるいは導入予定という回答をいただいています。中核市の 4 割がプロポーザル方式です。</p> <p>委員 このシステム自体はパッケージのような形ですか。</p> <p>担当課 パッケージという形です。</p> <p>委員 カスタマイズとかは必要ですか。</p> <p>担当課 それほど大きなカスタマイズは必要ではないと考えていますが、事業者の中ではある程度カスタマイズするのも出るのではないのかなと考えています。</p> <p>委員長 このプロポーザルで業者から何を提案してもらうのですか。</p> <p>担当課 今回提案していただくのは、主に、システムと技術的なものですが、今後システムに統合される最新の施設情報を基に、一つは施設評価、もう一つは各種の分析の活用を行う。また、活用方法、データの効率的な収集方法、公共施設を保全していくために必要な保全の時期や箇所を的確にこちらが把握できるようなものを考えています。</p> <p>委員長 提案っていうのは施設評価を提案してもらうことですか。</p> <p>担当課 活用方法とかを考えています。</p> <p>委員長 活用方法の提案。その施設の。</p>			

委員長 システムの活用方法とは何ですか。

担当課 少子高齢化の社会に対して公共施設をどうしていくのか、マネジメントを進めていくためのシステムと考えています。

委員長 施設の活用方法ではないのでしょうか。システムの使い方の提案ですか。

担当課 システムをマネジメントに役立てる方法です。そういったものを提案してもらいたいと思っています。

委員 言い方が逆ではないですか。こういうことを出来ますよっていうシステムをプロポーザルしてもらおう。システムの活用方法ではなく、こんなことも出来るシステムですということアピールしてもらおうことですね。

委員 業者はどのような業者ですか。

委員 どんなような業界の業者かって。固有名詞はともかく、例えば参考にこんな業者があるというのでも。

担当課 例えば〇〇さんとか、〇〇さんがパッケージを出しているというは確認しております。

委員 結果として競争入札とでは結果に大きな違いがでるような見通しは経っているのですか。プロポにした方が価格のみの判断ではないというところの見通しですか。

担当課 実際システムの使い勝手の良いようなシステム的にはこういう形のものなのだという、ある程度見せるようにはなっています。

委員 全体的にはこっちの方がよいものが出てくるということですね。

担当課 はい。

委員 良い部分をとって仕様書を作ったら、入札で十分やっていけるのではないかというようなことはないですか。

担当課 基本的にはパッケージですので、そういった良いとこ取りのような形は難しいと考えています。

委員 パッケージシステムをそのまま買うような感じに思われるが。

担当課 ASPを考えさせていただいています。ネットワーク上でのアプリケーションを提供してもらい形もなりますので、その使用料を毎月払っていくと考えております。

委員 パッケージの使用料は、パッケージの会社ですか。そのパッケージを色々カスタマイズするのがこの価格ですか。

担当課 はい。

担当課 システムに関しては、バージョンアップとか総務省からの要請に基づいて機能を追加したりする必要がありますので、使用料を払っている限り業者の方が必要に応じてバージョンアップを行うということになります。

委員 そのパッケージがいいという議論にならないのか。

担当課 ベースになるのはパッケージですが、そこからそういった形のものにできるのか活用方法があるのかということを出してもらおう。

委員 パッケージがあつてどうカスタマイズするかということだが、元のパッケージで競争する余地はないのですか。

担当課 リースだけが視点ではありませんので大きな比重は考えておりません。

委員 こういうふうに使えます。このいうふうのカスタマイズしますというのを競争させましょうということですか。

担当課 提案をいただきたいと考えております。評価は審査委員がします。学識経験者3名ないし2名です。

委員 その方々に、あなた達の思いを十分伝えておくということですか。

担当課 はい、伝えたいと思います。

委員 この契約は長期継続契約の何年間を考えていますか。

担当課 今現在は、5年を想定しています。

委員 今プロポをするのに420万円分だけをするのか。15万円掛ける12月掛ける5年プラス420万円の5年契約で初期投資も入れてトータルですのですね。

担当課 はい、ASPの使用料も採点に入っています。

担当課 委託料も評価点数に入っております。来年度以降のシステムの使用料、ASP使用料も評価の項目に入っております。

委員 よく言われるのは、通常システムですと保守の部分を一緒にうたいこんで入札っていうのはよくありますけれど

委員 パッケージではないのですね。

担当課 ASPっていうのは、アプリケーションを動かす方法のことです。そのASPの上で吐き出すアプリケーションソフトがパッケージで基本があるようなものです。

委員 もっと汎用性が出てきたら、多分おそらく奈良市よりもこの値段・このパッケージってもっと合うやつがあるかもしれない。

担当課 カスタマイズになるのかパッケージの特質の部分になるのかというのはあるのですが、こういう風な形のものでこういう使い方ができますよっていうのを提案してもらって、一番使いやすい、一番こちらの目的に沿うような形のものを選ばしていただきたいと考えております。

委員 仕様には書けなかったのですね。

委員 それをちゃんと評価できるのかどうかっていうのが一つ問題で、今、もう一つは30市がもう既にやっている中で、その中のいい部分をとって仕様書を作ることが不可能かどうかっていうのが問題。そしたら当然、一般競争入札で出来るのではないか。

委員 プロポをするにしてもある程度仕様書はいりますね。

委員 30市あってその業者も大体分かっているから出来そうな気もしますね。

委員 パッケージを変えるような感覚に近いものがあるのかなど。資産経営では入札にかける仕様書はちょっと作れないということなのですね。

担当課 難しい。

	<p>担当課 仕様書としては奈良市として一番最低ライン、ここまではなかったら困りますというラインを設定して、そこから上は提案で欲しいという仕様書になる。</p> <p>委員 価格競争じゃなくて、仕様競争化するという感じなのですね。</p> <p>担当課 当然一緒に腕を組んで、詰めていって、最後一緒に出来たらと思っています。</p> <p>委員 今30市やっているわけだが、そのの良いということはおうちの仕様書に入れていますか。</p> <p>担当課 はい。こちらの方で確認できている部分については入れています。</p> <p>委員 それを超えるものを提案してくれということですね</p> <p>担当課 はい。</p> <p>委員 入札しようと思ったら、さっきの奈良市の最低限の仕様書を書けますか。</p> <p>担当課 はい。</p> <p>委員 それに上澄みを求めるがためのプロポーザルという理解でよろしいか。</p> <p>担当課 はい。その提案を求めたいと思っています。</p> <p>委員 そうということならいいと思います。</p> <p>委員長 審査委員会としてはプロポーザルとして採用することを了承という形でよろしいですか。</p> <p>委員 はい。</p>
<p>資 料</p>	<p>【資料1】平成29年度第1回奈良市プロポーザル方式採否審査会調書 案件番号1</p> <p>【資料2】奈良市公共施設マネジメントシステム構築業務委託に係るプロポーザル方式実施要項</p>